

変わりゆくもの 変わらずに次の世代に引き継がれるもの

合併60周年 写真で振り返る大磯町

～ 大磯町が歩んできた60年の軌跡を当時の写真とともに振り返ります ～



戦後の経済成長の始まりに合わせ、様々な法律が整備され、教育・道路・ごみ処理といった課題などに対し地方自治制度の充実が図られる中、昭和28年(1953年)に地方自治体の行政基盤の確立などを目的に、町村合併促進法が公布されました。

この法律の下、昭和29年(1954年)12月1日に旧大磯町と国府町が合併して、現在の大磯町が誕生しました。誕生時は、人口約22,100人、住宅戸数約4,200戸、合併後の基本方針を「豊かな自然と景観を生かす新大磯のまちづくり」としてスタートしました。

60年後となる現在は、人口約32,500人、住宅戸数約12,800戸、将来像を「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」に掲げ、まちづくりを行なっています。人口や住宅戸数は60年前と比べ増えていますが、まちづくりの精神は、現在の大磯町にも脈々と受け継がれています。

旧大磯町と国府町合併の協議成立



握手する大磯(左)国府(右)両町長

昭和30年1月22・23日に行われた合併祝賀会のパレード



60年という時間は人間の年齢で言うと還暦にあたり一つの節目となります。この60年を振り返ると社会は大きく転換しました。暮らしが便利になる一方で産業の衰退、少子高齢化・人口減少といった課題も浮き彫りとなっています。

私たちの暮らす大磯町は、豊かで美しい自然環境や地域に根ざした由緒ある歴史・文化といった誇れる地域資源が数多くあります。この恵まれた自然や歴史、文化が今あるのは、先人たちが将来を見据え、長い年月をかけて“まち”を築き上げてきたからです。

これから先、乗り越えていかなければならない多くの課題に対し、住んで良かった、住んでみたいと思われる魅力あるまちづくりを皆さんとともに創り上げていきましょう。



合併60周年記念
「みらいのおおいそ!」ポスター展
最優秀作品 大磯小学校6年 武藤美姿さん

合併60周年記念事業

記念切手を販売中



合併60周年を記念したオリジナルフレーム切手シート。大磯町、二宮町などの郵便局、町施設の一部にて販売中。

政策課 内線207

ご当地ナンバープレート 申込み受付中



原動機付自転車のオリジナルナンバープレート。12月1日から限定交付。

税務課 内線253・254

風景写真から見る移り変わり 写真集を販売中



合併当時(昭和30年代)と現代の風景を比較して、その移り変わりを調べた写真集を販売中。

郷土資料館 (61)4700 内線666

平成										昭和										町内での出来事							
26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年	16年	10年	9年	63年	59年	58年	57年	54年	53年	50年	48年	46年	43年		41年	39年	35年	31年	29年		
大磯海水浴場開設130年	部分開園	県立大磯城山公園「旧吉田茂邸地区」が	有形文化財に登録	旧木下家別邸(大磯駅前洋館)が登録	大磯町自治基本条例を制定・施行	町の鳥に「アオバト」が制定	旧吉田茂邸が火災により焼失	大磯駅のバリアフリー化工事完成	大磯運動公園全面オープン	かながわ・ゆめ国体(ゴルフ・綱引)開催	町の花に「はまひるがお」を制定	城山トンネル開通	照ヶ崎ブルが新装オープン	県立大磯城山公園が開園	郷土資料館が開館	町の鳥に「かもめ」を制定	町立図書館が現在地に完成	町立図書館国府分館が開館	保健センターが完成	大磯港が完成	町役場新庁舎が現在地に完成	消防本部・消防署を設置	西湘バイパス大磯区間が開通	大磯プリンスホテルが東京オリンピックのヨット選手村となる	大磯町商工会が設立	大磯文化史発刊	大磯町と国府町が合併



大磯運動公園オープン



城山トンネル開通



西湘バイパス開通